

令和5年度病害虫発生予察注意報第1号

令和5年4月28日
愛知 県

作物名：コムギ
病害虫名：うどんこ病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) 4月下旬に県内10地点、20ほ場で実施した巡回調査においてムギ類うどんこ病の発病茎率が27.25%（平年7.42%、前年0.00%）と過去10年で最も高く、発生ほ場率が55.0%（平年19.5%、前年0.0%）と過去10年で2番目に高かった。

また、一部ほ場では、上位葉や穂に進展が確認されている。

(2) 3月下旬に本病の初発を確認しており、例年に比べて早い。

(3) 本県のコムギの主力品種である「きぬあかり」は「農林61号」と比較してムギ類うどんこ病にやや弱い。

4 防除対策

(1) 葉色が濃いところ、倒伏しているところでは、うどんこ病が発生している可能性が高いため、特に注意する

(2) 穂及び止葉を含む上位2葉に多発すると、千粒重が低下する。上位葉に病斑の進展がみられる場合は、下表を参考に防除を行う。

なお、ムギ類赤かび病の防除を兼ねて、赤かび病とうどんこ病の両方に適用のある薬剤を選択する。

(3) 本病の病斑は、下葉から発生し、上位葉に進展するため、下位葉に届くように薬剤を散布する。

表 ムギ類うどんこ病の主な防除薬剤（コムギ）

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	3
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布	3

(無人航空機用)

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3
麦類	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3

令和5年4月28日確認時点。FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2022.pdf を参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471